

ヴィンテージ：ファッションや家具には魅力的だが、 ソフトウェアには無用

(2014年4月2日ヘルシンキ発 - フィンランド本社発表資料抄訳)

最近のエフセキュアの調査では、10社中4社の中小中堅企業が古いソフトウェアを使用していることを報告しており、データ漏洩に対し無防備な状態にあります。

なんらかの商品を購入して、長い期間保管しておけば、それはやがてヴィンテージ化します。粋で独特の味を出し、過ぎ去った日々へと時間を戻してくれるヴィンテージは、ファッションや家具、車にとっては魅力的でも、商用ソフトウェアにとって古いということはセキュリティリスク以外の何物でもありません。エフセキュアの調査では、多くの企業が古いソフトウェアを使用することで会社の資産を大きな危険にさらしていることがわかっています。

94%の中小中堅企業は、ソフトウェアを常に最新の状態にしておくことが重要であると考えています。しかし、現実にはそのようになっていません。自社のソフトウェアが常に最新の状態であると答えた企業はわずか59%、ソフトウェアを最新の状態に保つのに充分なリソースがあると答えた企業はわずか63%にすぎません。

ソフトウェアを最新の状態に保つことは、ビジネスでのセキュリティ全体において非常に重要な要素の1つです。古いソフトウェアには、サイバー犯罪者が企業ネットワークへの侵入経路として悪用可能なセキュリティ上の欠陥が潜んでいます。エフセキュアラボが検出したマルウェアトップ10の70%から80%は、ソフトウェアを最新の状態にしておけば防ぐことができたものです。

ソフトウェアアップデートは長時間を費やす

企業は、ソフトウェアのアップデートに1週間当たり平均11時間の時間を費やしていると報告しています。企業の規模が大きくなるほど、その時間は増えています。従業員数50人未満の企業では、1週間当たりの平均時間が3時間であるのに対し、従業員数が250人を超える企業ではこの時間は15時間以上になります。

エフセキュアのコーポレートセキュリティ担当バイスプレジデント、ペッカ・ウスヴァは次のように述べています。「アップデートに企業が費やす時間については、ほんの氷山の一角に触れるだけですが、ありがちな誤解として、問題がOSにあると認識されていることが挙げられます。しかしそれは誤りです。OSは、十分にメンテナンスが施され、アップデートが行われています。深刻なのは、企業や個人が使用するサードパーティのアプリケーションなのです。いくつか例を挙げるとSkype、Adobe Reader、さまざまなプラグイン機能を持つブラウザ、Javaなどが該当します。皆様はご自分のデバイスに何がインストールされているかをご存知でしょうか。」

一方、古いソフトウェアに潜む脆弱性を狙ったサイバー攻撃は増え続けています。そして、新種の脅威というのは、数日や数週間ではなく、秒単位で作成されています。

従業員が個人所有のソフトウェアを使用

現在では従業員は個人所有のデバイスを持ち込んでおり、調査を行った企業の約半数は従業員による個人所有のソフトウェアの使用も容認しています。企業の規模が小さいほど、この傾向は顕著になります。従業員数が 50 人未満の企業の 56%が容認しているのに対し、従業員数が 250 人を超える企業で容認しているのは 39%です。また、フィンランド（53%）、スウェーデン（59%）では比較的高い割合で容認され、ポーランド（30%）やフランス（36%）では、容認度が低くなっていることが報告されています。

67%の企業では、個人所有のソフトウェアを使用する従業員は、自分たちでアップデートを行わなければなりません。しかし、個人がソフトウェアを常に最新の状態にしている保証はないため、これはリスクの高いポリシーということになります。従業員数が 50 未満の企業では、81%の従業員がアップデートを自分で責任を持って実施しなくてはなりません。また、企業の 30%は Microsoft のアップデートにしか対応していません。

ソフトウェア アップデータ : ソフトウェアを最新の状態に保つ、従来とは異なる最新の方法

ウスヴァは、企業のすべてのコンピュータとデバイスのソフトウェアすべてを最新の状態に保つ方法は、そのプロセスを自動化するほかないと語ります。「ソフトウェアメーカーは週ベースで、または長くても月ベースでアップデートのリリースを行います。これらのアップデートを手動で行おうとするのは、負け戦に挑むようなものです。ソフトウェア アップデータの自動化機能に全社的なセキュリティアップデートをすべて任せることで、貴重な時間やリソースを他の作業に充てることができるようになります。」

ソフトウェア アップデータはエフセキュア プロテクション サービス ビジネス (PSB) の機能の 1 つです。ソフトウェア アップデータを使えば、企業は従業員がインストールしたソフトウェアでも、常に最新の状態に保つことができます。プロセス全体を自動で完結することができるのです。ソフトウェア アップデータは、ソフトウェアの脆弱性を狙った攻撃から企業ネットワークを保護するために役立ちます。また、ソフトウェア アップデータはエフセキュアのその他の法人向け製品にも利用可能です。

ヴィンテージは、ファッションだけに留めておきましょう。昨日のソフトウェアは今日の時間や費用の無駄であり、明日の信頼や重要なデータ喪失のリスクとなります。

* エフセキュアの 2014 年デジタル企業調査は、8 カ国（ドイツ、イタリア、フランス、英国、スウェーデン、フィンランド、ポーランド、アメリカ合衆国）で 1~500 名の従業員（平均 200 名）を有する企業を対象に Web インタビューを実施しました。同調査は 2013 年 11 月に実施されました。

*エフセキュアの社名、ロゴ、製品名は F-Secure Corporation の登録商標です。

*本文中に記載された会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。



<http://www.f-secure.co.jp/>

エフセキュア — かけがえのないものを守る

エフセキュアは、お客様が重要なアクティビティに専念できるよう、コンピュータでもスマートフォンでも、オンラインでの保護と安全をお約束します。また、バックアップを提供するとともに、重要なファイルの共有も可能にします。エフセキュアのサービスは、200以上の通信事業者を通じて世界で提供されており、数百万のホームユーザ、ビジネスユーザから信頼を受けています。1988年創業のエフセキュアは、NASDAQ OMX Helsinki Ltd に上場しています。

エフセキュア株式会社は、エフセキュア社 100%出資の現地法人として設立され、以降、増収を続けながら順調に企業規模を拡大しており、2009年5月に日本法人設立満10周年を迎えました。

会社名: エフセキュア株式会社
カントリーマネージャ: アリエン・ヴァン・ブロックランド
所在地: 〒107-0052 東京都港区赤坂 2-11-7 ATT 新館 6F
設立: 1999年5月
事業内容: セキュリティ関連製品・サービスの販売およびサポート

本件に関するお問合せ先

エフセキュア株式会社
マーケティング部
Tel: 03-5545-8942 Fax: 03-5545-8945
Email: japan@f-secure.co.jp
〒107-0052 東京都港区赤坂 2-11-7 ATT 新館 6F
URL: <http://www.f-secure.co.jp/>
Blog: <http://blog.f-secure.jp/>